

令和7年度 第2学年 国語科 年間指導計画・評価計画

月	時数	単元	観点別学習状況の評価の観点			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	15	<p>広がる学びへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスプラネット ・[聞く]意見を聞き、整理して検討する <p>・枕草子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字に親しもう ・単語をどう分ける？ 	<p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>→登場人物どうしの関係や人物像を図式化して整理している。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>→意見と根拠を区別して捉え、適切な根拠の在り方について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア <p>→古典の文章独特の調子やリズムを意識して音読している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ <p>→現代語訳や語注を手がかりに「枕草子」を読み、作者のもの見方や考え方を捉えている。</p>	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)</p> <p>→ぐうちゃんの人物像や、登場人物どうしの関係を文章から読み取り、図にまとめている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p> <p>→発言者の立場を踏まえ、それぞれの意見と根拠を整理して考えをまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) <p>→作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決 	<p>登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

				<p>め、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>(B(1)ア)</p> <p>→生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 <p>(B(1)ウ)</p> <p>→季節感を表すものについて、その様子が具体的に想像できるよう、語句や表現を選んで書いている。</p>		
5	13	<p>多様な視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クマゼミ増加の原因を探る ・情報を整理して伝えよう <p>職業ガイドをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成 ・漢字に親しもう 	<p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>→文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>→集めた情報を表や図にまとめ、整理している。</p>	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア)</p> <p>→筆者の主張を捉え、それと仮説 1～3 との関係を理解している。</p> <p>「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ)</p> <p>→文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理</p>	<p>積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p> <p>多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

				し、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) →知りたいことに適した方法を考えて情報を収集し、収集した情報を分類・整理して自分の目的に合うものを取捨選択している。		
6	3	言葉と向き合う ・短歌に親しむ ・短歌の創造教室 ・短歌を味わう ・言葉の力	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)エ) →情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。 →情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ((3)エ) →本や文章を読み、さまざまなもの見方・考え方に触れることで、自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。 (C(1)エ) →複数の短歌を比較し、歌われた情景や心情、表現とその効果について考えている。 「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (C(1)オ) →好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。 (B(1)ウ) →自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や	表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	タブレット端末 提示用デジタル教科書

				<p>経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p> <p>→言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。</p>		
7	9	<p>・類義語・対義語・多義語</p> <p>・語彙を豊かに</p> <p>抽象的な概念を表す言葉</p> <p>情報×SDG s</p> <p>・メディアの特徴を生かして情報を集めよう</p>	<p>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p> <p>→類義語・対義語・多義語の概念について、具体例を当てはめて理解している。</p> <p>→抽象的な概念を表す語句について、類義語や対義語と比較することを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→メディアが伝える情報の内容とその根拠の適切さに着目している。</p> <p>・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>→メディアの特徴を、表や図などにまとめている。</p>	<p>「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ)</p> <p>→メディアの特徴を踏まえ、情報の信頼性を判断するために必要なことについてまとめている。</p>	<p>今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。</p> <p>複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

7	2	<p>読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 翻訳作品を読み比べよう ・ 星の王子さま ・ 読書コラム「わからない」 <p>は人生の宝物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書案内 本の世界を広げよう 	<p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ((3)エ)</p> <p>→二つの翻訳やコラムを読んで、本や文章には、さまざまなものの見方や考え方が表れていることを理解している。</p>	<p>「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>(C(1)エ)</p> <p>→二つの翻訳を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて考えている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (C(1)オ)</p> <p>→翻訳の違いによる作品の印象の違いについて意見を交流し、考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>
9	14	<p>人間のきずな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒューマノイド <p>・ 字のない葉書</p> <p>・ 聞き上手になろう</p> <p>質問で思いや考えを引き出す</p>	<p>話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ((1)オ)</p> <p>→登場人物の言動や伏線に着目し、それらが話の展開にどのように関わっているのかを考えている。</p> <p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ((3)エ)</p> <p>→随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。</p>	<p>「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 (C(1)イ)</p> <p>→過去と現在、伏線と結末を結び付けて、登場人物の言動の意味を解釈している。</p> <p>「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>(C(1)エ) →前半部分と後半部分の人物や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。</p>	<p>登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。</p> <p>文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

		<p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ((1)ア) →どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。</p> <p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ((1)ア) →何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けてもらえるかを考えている。</p> <p>・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 ((1)カ) →相手や目的に応じて、敬語を適切に使って書いている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 (A(1)エ) →話の要旨や展開に注意しながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。</p> <p>「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 (B(1)ウ) →自分の思いや考えが伝わるように、具体的な説明を加えたり、表現の工夫をしたりしている。</p>	<p>論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。</p> <p>自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。</p>		
10	16	<p>論理を捉えて</p> <p>・モアイは語る ——地球の未来</p> <p>思考のレッスン2</p> <p>・根拠の吟味</p>	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>((2)ア) →筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを捉えるとともに、より適切な根拠の在り方を理解している。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>((2)ア)</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。</p> <p>(C(1)エ) →文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論理の展開を吟味している。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (C(1)オ)</p>	<p>論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

		<p>・適切な根拠を選んで書く 意見文を書く</p>	<p>→根拠の適切さを吟味する方法を理解して、問題 1、2 に取り組んでいる。</p>	<p>→自分の知識や体験と結び付けながら、筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめている。</p> <p>「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) →段落のまとまりを意識して、自分の意見が明確に伝わるよう文章の構成を決めたり、段落の順序を検討したりしている。</p> <p>・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →根拠として適切な事実と、意見と根拠を無理なく結び付ける「理由づけ」を示し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p>	<p>粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア →自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。</p>	
12	10	<p>いにしへの心を訪ねる ・音読を楽しむ 平家物語 ・「平家物語」の世界/ 「平家物語」の主な登場人物たち</p>	<p>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 (3)ア →漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。</p>		<p>進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・扇的 「平家物語」から ・仁和寺にある法師「徒然草」から 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 (3イ) →冒頭部分の現代語訳や、「平家物語」のあらすじを読んで、「無常観」を感じ取っている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 (3ア) →「平家物語」の、漢語を巧みに交えた独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 (3イ) →与一や義経の言動、扇的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 	<p>「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)</p> <p>→「扇的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。</p>	<p>登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の風景 ・係り結び ・律詩について 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 (3ア) →古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れた 	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p> <p>→仁和寺の法師の描き方などを踏まえて、作者のものの見方について考えたことを話し合っている。</p>	<p>積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。</p>	

		<p>もの見方や考え方を知っている。</p> <p>(3イ)</p> <p>→現代語訳や語注などを手がかりにして読み、文章に表れた作者のもの見方、考え方を理解している。</p> <p>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>(3ア)</p> <p>→漢詩の構成や表現の特徴を意識して朗読している。</p> <p>・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方を知っている。</p> <p>(3イ)</p> <p>→解説の文章を手がかりにして、詩の作者の思いを想像し、古人のもの見方、考え方について考えを深めている。</p>	<p>・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)</p> <p>→人物像が明確に伝わるように、文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じている。</p> <p>「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>(C(1)エ)</p> <p>→好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果伝え合っている。</p>	<p>進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>	
1 ～ 3	27	<p>価値を知る</p> <p>・君は「最後の晩餐」を知っているか</p> <p>最後の晩餐の新しさ</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2イ)</p> <p>→二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>(2ア)</p>	<p>「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ)</p> <p>→文章の構成や表現の特徴などについて、二つの文章を比較して発見したことを話し合っている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や</p>	<p>進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

			<p>ついて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)エ)</p> <p>→作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。</p>	<p>→メロスや王の言動に着目して、考え方や心情の変化を読み取っている。</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (C(1)オ)</p> <p>→読み深めたことや、文学の読み方に関する知識・経験を生かして作品の魅力を分析し、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 (B(1)ウ)</p> <p>→登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。</p>	<p>作品の魅力を文章にまとめようとしている。</p>	
	<p>・描写を工夫して書こう</p> <p>心の動きが伝わるように物語を書く</p>	<p>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)エ)</p> <p>→これまでに読んだ物語や小説の表現を参考にして、場面の様子や人物の心情を表す語句を使って書いている。</p>	<p>「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 (B(1)ウ)</p> <p>→読み手が場面の様子や人物の心情を具体的に想像できるように、表現の効果を考えながら描写を工夫している。</p>	<p>粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</p>		

		<p>・国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る</p> <p>・鍵</p>	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア →これまでの学習活動における具体的な変化を抽象化してまとめている。</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ →詩の中で使われている言葉に着目し、語感や表現の効果を考えている。</p>	<p>・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 (B(1)オ) →書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) →互いの考えを尊重しながら対話し、それを通して自分の考えを整理したり、価値づけたりしてまとめている。</p> <p>・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 (B(1)オ) →自分の作品の読み手からのコメントを通して、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p>	<p>【態】粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。</p> <p>詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。</p>	
<p>評価の方法</p>	<p>ワークシート、小テスト、定期考査</p>	<p>ワークシート、定期考査</p>	<p>振り返りシート、ワークシート</p>			